

|| 求む！日本人客

ウィルヘルムスホフのオーナー、マイヤーホーファーさんが今回筆者を招待してくれたのは、「日本人観光客をもっと呼び込みたい」と考えているからだそう。マイヤーホーファーさんによると、2012年のウィーン全体での日本人の延べ宿泊者数は、前年比11%増の30万9000人。これは距離的にウィーンにずっと近い英国とほぼ同じ水準で、アジアでは一番だ。「日本人は、ウィーンの文化、歴史に大きな興味を持ってきている。ウィーンにとって、日本は非常に重要な市場なのです」という。

それにもかかわらず、同ホテルには日本人観光客はわずかということで、日本人向けのPRを行いたいのだという。同ホテルはウィーン中心部のシュテファンсплаッツまで地下鉄で3駅と、中心部に立地。マイヤーホーファーさんで3代目という老舗の伝統がありつつ、設備も清潔だ。日本人を歓待してくれることは間違いないので、ウィーン観光を検討されている方には、是非宿泊をお勧めしたい。



「日本人に是非来て欲しい」というホテル・ウィルヘルムスホフのオーナー、マイヤーホーファーさん【時事通信社】

[画像クリックで拡大](#)